

2025年3月21日（金）

国際芸術祭 あいち2025

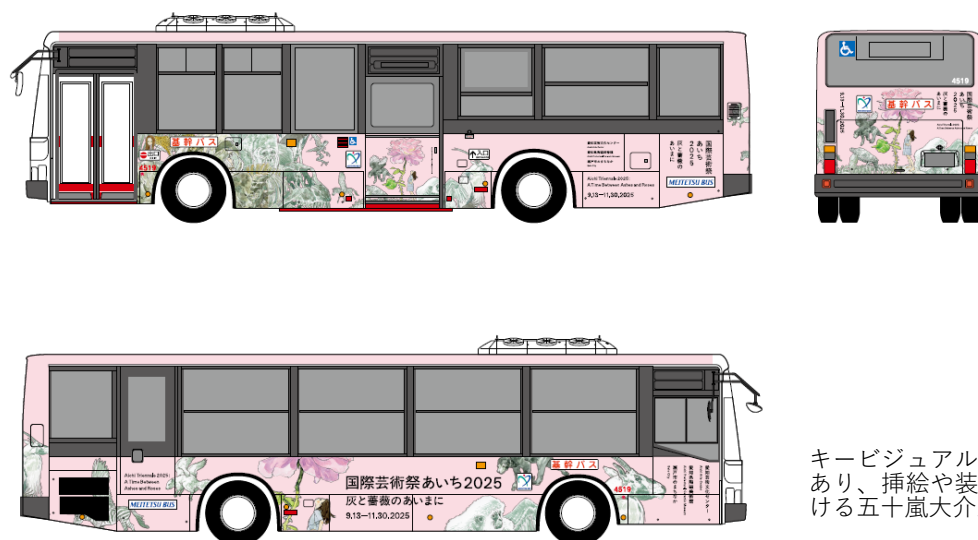
灰と薔薇のあいまに

Aichi Triennale 2025:
A Time Between Ashes and Roses

国際芸術祭「あいち 2025」

灰と薔薇のあいまに

ラッピングバスが3月30日から運行



キービジュアルは、漫画家であり、挿絵や装画も多数手掛ける五十嵐大介氏によるもの

国際芸術祭「あいち 2025」のキービジュアルを配したラッピングバスが、名鉄バス株式会社のご協力により完成しました。2025年3月30日（日）から運行を開始します。

芸術祭の会期は9月13日（土）から11月30日（日）まで。会期前は、名古屋市を含む幅広い路線を走り、会期中は会場となる「瀬戸のまちなか」を中心に運行する予定です。

運行初日の3月30日（日）は、愛知県陶磁美術館のリニューアルオープン記念式典にあわせ、瀬戸市駅前と愛・地球博記念公園駅の間を走行し、以下の時間に「陶磁美術館」バス停に停車します。「あいち」のまちを彩るバスの走行にご期待ください。

名鉄バス 陶磁美術館 停車時間（3月30日）
・ 9時10分、9時28分、10時31分、10時52分



国際芸術祭「あいち 2025」 開催概要

テーマ：灰と薔薇のあいまに A Time Between Ashes and Roses

芸術監督：フール・アル・カシミ

[シャルジャ美術財団理事長兼ディレクター／

国際ビエンナーレ協会 (IBA) 会長]

会 期：2025年9月13日(土)～11月30日(日) [79日間]

主な会場：愛知芸術文化センター、愛知県陶磁美術館、瀬戸市のまちなか

主 催：国際芸術祭「あいち」組織委員会

[会長 大林剛郎 (株式会社大林組取締役会長 兼 取締役会議長)]

公式サイト：<https://aichitriennale.jp/>

「あいち」の国際芸術祭

2010年から3年ごとに開催される「あいち」の国際芸術祭は、国内最大規模の国際芸術祭の一つであり、国内外から多数のアーティストが参加します。愛知芸術文化センターのほか、県内の都市のまちなかを会場として広域に展開します。現代美術を基軸に、パフォーマンス、ラーニング・プログラムなど、ジャンルを横断し、アートの多様性を「あいち」から発信します。

[本リリースに関する問合せ]

国際芸術祭「あいち」組織委員会 広報担当 (横溝、神尾)

Email: press@aichitriennale.jp TEL: 052-971-6182 (平日9時～17時)